

フランス領インドシナへの飛行

齊藤 勝男 (S-50600・東京)

1930年3月フランス人飛行家モーリス・ノゲによりマルセイユ～インドシナまで10日間で12,000kmを飛行し開発されました。エール・オリエント航空によりフランス領インドシナ(トンキン、ラオス、アンナン、カンボジア、コーチシナ)宛てへの定期航空便の運航を1931年1月16日開設し、マルセイユ～バイルート間をCAMS 53-1 "SYRIE" 飛行艇で、バイルート～サイゴンをFOKKER F. VIIb 3m間を使用し開設。1934年エールフランス航空に吸収合併によりインドシナ間空路及び香港まで延長空路を開設、1940年ヨーロッパ戦線激化により運航停止までの初便航空郵便カバーから最終便カバー迄と航空切手にて展示します。

AIR-ORIENT

マルセイユ～サイゴン線の開設

1931年1月16日 パリ～マルセイユ経由サイゴン初就航



Paris 1931年1月16日 14h 書留引受、裏面到着地 Saigon 1931年1月27日着印。



Section	Aircraft used	Time
Marseille-Corfou	Hydravion CAMS 53/1 F-AIZA "SYRIE"	17/1/31 7h30-17/1/31 11h30
Corfou-Athènes	Hydravion CAMS 53/1 F-AJLK "FLANDRE"	18/1/31 12h15-19/1/31
Athènes-Beyrouth	Hydravion CAMS 53/1 F-AJLK "FLANDRE"	21/1/31 7h30-21/1/31 16h
Tripoli-Damas	Transport	
Damas-Saigon	FOKKER VII b-3m PH-AEN "LA JOYEUSE"	22/1/31 3h15-27/2/31 14h

AIR-ORIENT マルセイユ～サイゴン線の開設

1931年1月21日 往路初便 バイルート～サイゴン航空郵便



Beyrouth 1931年1月31日 11:30引受、裏面到着地 Saigon 1月27日 17h着印。Fokker F.VIIb-3m "Joyeuse"

1931年2月3日 復路初便 サイゴン～マルセイユ經由パリ



Saigon 1931年2月3日 19:25引受、裏面到着地 Paris 2月17日 19h着印。

AIR-ORIENT

1931年8月13日 パリ～マルセイユ經由サイゴン宛て航空郵便



Paris 1931年8月13日 13h引受、裏面到着地 Marseille 8月14日 11h * Saigon 8月28日着印。

1931年8月20日 サイゴン～マルセイユ經由パリ宛て航空郵便



Saigon 1931年8月20日引受、裏面Marseille 8月31日着印。